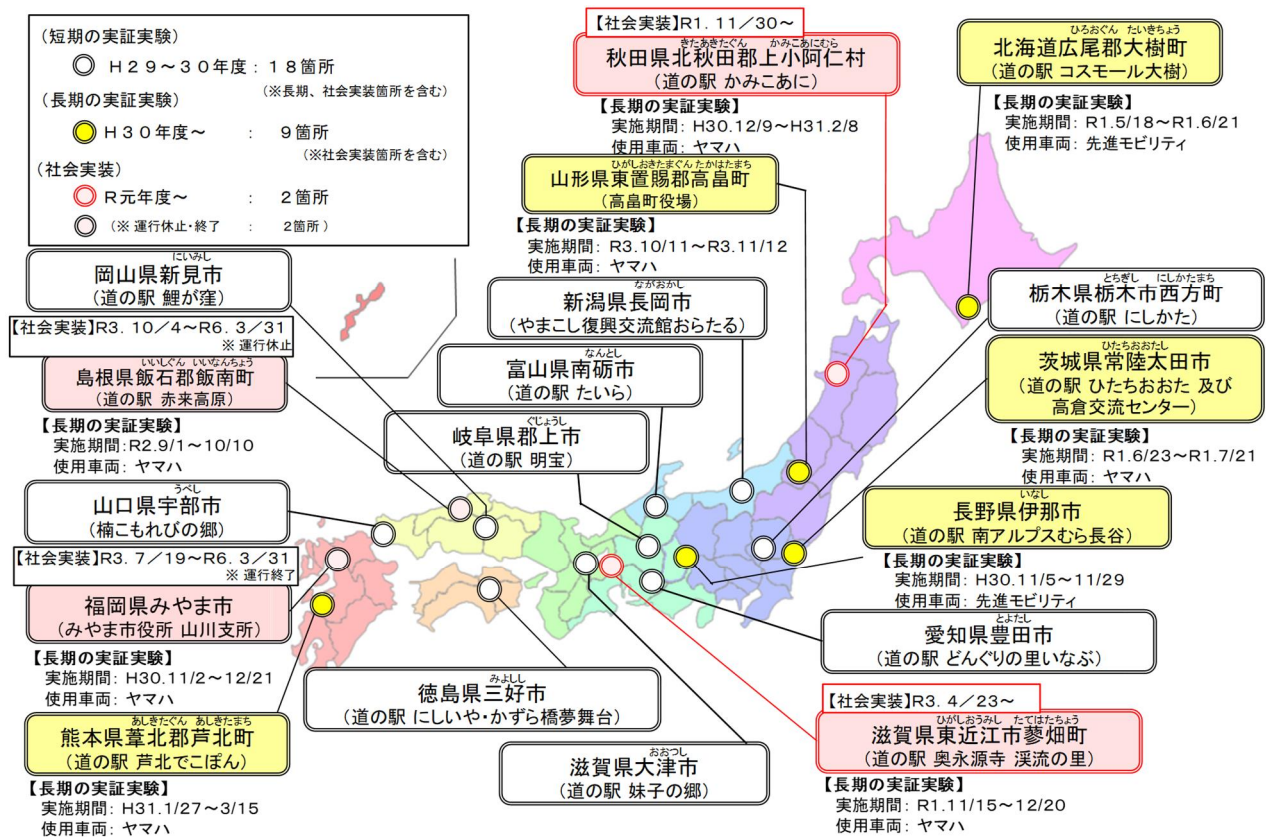


(7) 自動運転導入に向けた取組

① 道の駅等を拠点とした自動運転サービス実証実験

高齢化が進行する中山間地域において、人流・物流を確保するため、道の駅等を拠点とした自動運転サービスの実証実験を平成 29 年度より実施。技術面やビジネスモデル等に関する実証実験結果を踏まえ、令和元年 11 月に本格導入した道の駅「かみこあに」（秋田県）に続き、令和 3 年 4 月に道の駅「奥永源寺溪流の里」（滋賀県）、同年 7 月に「みやま市山川支所」（福岡県）、同年 10 月に道の駅「赤来高原」（島根県）において本格導入した。

【道の駅等を拠点とした自動運転サービス実証実験 実施箇所】



② 一般道における路車協調システム実証実験

一般車や歩行者・自転車が混在する一般道の交差点等において、車載センサでは検知が困難な道路情報を交差点センサ等で検知し、自動運転車に提供することで、道路交通の円滑性・安全性の向上を図るため、路車協調システムの実証実験を令和5年度より実施。令和5年度には28自治体の採択を行い、各地で路車協調システムの実証実験を実施した。

【一般道における路車協調システム実証実験 採択箇所】

